

毛利さんは、若狭小浜お魚センターにある魚安商店（川崎二丁目）で、鮮魚をしょうゆ干しやへしこなどに加工し、販売する仕事をしています。店主である祖父をはじめ、祖母や両親らと共に、店を切り盛りします。

「高校生の頃から、将来は店を継ぐうと思っていました」と、笑顔を見せる毛利さん。高校卒業後、日本海の魚の種類を学び、コミュニケーション力を磨くため、金沢市中央卸売市場（石川県）に就職。3年間の修行を経て、今年4月、小浜に戻りました。

小浜を「魚のまち」にしたい



うおやす 魚安商店
勤務先
もうり あきら
毛利 晶 さん (22歳)

店では、主に鮮魚の加工を担当する毛利さん。「常連さんに、『兄ちゃんがんばれ。いつもありがとう』って声を掛けてもらうと、がんばろうと思う。直接人の口に入るものを作っているから、『手は抜いたらあかん』と、常に自分に言い聞かせています」

毛利さんは、今後の新幹線延伸に期待を込め、「魚で小浜を盛り上げて、小浜を『魚のまち』にしたい。魚離れが進んでいる世代にも、干物や刺身などで、手軽に魚を食べて欲しいですね」と話してくれました。

きりり! 小浜人

子どもたちのために修繕奉仕

内装工事などを扱う事業者でつくる福井県インテリア事業協同組合。桑田さんは、旧上中町以西の事業者が加盟するわかさ支部の支部長を務めます。

同組合では、平成9年から、保育園や介護施設などで内装修繕のボランティア活動を実施。わかさ支部は、県内5支部で唯一、24年間途切れることなく活動を行っています。

熱意の源を桑田さんに尋ねると、「保育園は、子どもたちが朝から晩まで過ごす場所。より良い環境にしたという使命感がある」とのこと。

「傷みやすい床や、独特な構造で修繕に専門的な技術を要するステージなどは、園からの要望も多い」と言う桑田さん。今年度は、11月に浜っ子子ども園（川崎一丁目）のステージを修繕しました。

「ピカピカになった床やステージを見て、子どもたちが喜んでくれるのがうれしい」と、目を細める桑田さん。園児からお礼にと贈られた手作りの品々を手に、「これからも、要望がある限り続けていきたい」と笑顔を見せました。



福井県インテリア事業協同組合わかさ支部 支部長
くわだ ひろとし
桑田 博敏 さん (52歳)

燃えろ! 青春! 部活道

全員の努力で優勝につなげる

1・2年生合わせて12人が、練習に励む小浜中学校男子卓球部。寺井さんは、体験入部の時に卓球に魅力を感じ、競技を始めました。

同部の2年生は2人のみ。キャプテンを決める際、自分から立候補した寺井さんは、「恥ずかしくて、今までは進んで前に出ようとはしなかったけど、学校内の催しでリーダーを務めたり、周りの人から『リーダーに向いている』と言われるうちに、キャプテンをやってみたいと思うようになった」と、ほほえみます。



男子卓球部 キャプテン
てらい かおり
寺井 海吏 さん
(小浜中学校2年生)

練習に関する意見は、後輩であっても、きちんと受け止める寺井さん。「なぜこの練習をするのかを、納得してもらえるように話し、時には練習メニューを見直します」と、気配りを欠かしません。顧問の小西先生も、寺井さんのことを「明るくて面倒見がいい」と、評価します。

今後の部の目標は、団体での地区大会優勝。寺井さんは、「部員全員が努力を続けることで、目標達成につながると思います」と、意気込みを話してくれました。

燃えろ! 青春! 部活道

強豪を見据えて練習に励む

若狭東高校女子バレーボール部には、1・2年生9人が所属。キャプテンの堀口さんは、攻撃の主軸を担うスパイカーとしてもチームを引っ張っています。

堀口さんが競技に出合ったのは、小学6年生の頃。友人の誘いで入った地元チームで熱中し、中学・高校とも迷わずバレーボール部に入りました。

「バレーは、ボールをみんなですな

練習では、「試合運びがうまくいかない時、互いに前向きに励み合っ

てチームを鼓舞できるよう、一人ひとりが日頃から意識しています」と言う同部。現体制初の大会となった9月の県大会ではベスト8に進出し、着実に成果を上げています。

今後は「県大会でベスト4に入るような強豪校とも渡り合えるチームになりたい」と語る堀口さん。「サーブやレシーブといった技術を磨き、まずは4月の嶺南大会で優勝したい」と、今日も仲間と練習に励みます。



女子バレーボール部 キャプテン
ほりぐち めい
堀口 芽生 さん
(若狭東高校2年生)

足の血管病 「閉塞性動脈硬化症」とは？

「足元」にご用心！

これは、私と外来にお越しになった患者さんとの、やりとりです。

■池田「最近、足はどうですか？ 歩くとき痛くなったり、夜間に痛くなったりしませんか？」

■患者「そうですね、歩くと足のふくらはぎが痛くなってしまうんです」

■池田「足の血管の病気が隠れているかもしれませんね。足の診察と簡単な検査をしましょう」

普段、「足元」まで診察を受けることは少ないと思いますが、高血圧・糖尿病・高脂血症などを患っている人は、「閉塞性動脈硬化症」になっている場合があるので、注意が必要です。

この病気になると、歩くとふくらはぎあたりが痛くなり、休憩をしないと、また歩けるようになる「間欠性跛行」や、じっとしていても足が痛む「安静時疼痛」を発症します。



内科
池田 裕之 医師

コロナ禍では、診察控えが問題となつていますが、この病気が放っておくと、足に潰瘍ができたり、足が壊死したりすることにもなりかねません。

「足元」に用心していただき、おかしいなと思うことがあれば、かかりつけ医に相談しましょう。

閉塞性動脈硬化症の症状

<p>間欠性跛行 (かんけつせいはいこう)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一定距離を歩くと、主にふくらはぎ等が締め付けられる様に痛くなり、休まなければならぬ(数分で回復) 階段を登るのは特につらい 	<p>潰瘍・壊死 (かいよう・えし)</p> <ul style="list-style-type: none"> 足に治りにくい潰瘍ができる 壊死部は黒くなる
<p>安静時疼痛 (あんせいじとうつう)</p> <ul style="list-style-type: none"> じっとしていても足が痛み、夜もよく眠れない 刺す様な痛みが常に持続している 	

▲画像は慶應義塾大学 KOMPAS から許可を得て転載 (https://kompas.hosp.keio.ac.jp/contents/000619.html)

歴史探訪

ふるさと文化財めぐり

学芸員が教える、「思わず人に話したくなる」歴史の裏話



太良庄が好きな観音さま

太良庄にある正林庵では、高さ33センチの小さな仏像が大切に守られています。この仏像「銅造如意輪観音半跏像」は、奈良時代に制作されたと考えられ、国の重要文化財に指定されている県内最古の金銅仏（銅製の仏像を金で装飾したもの）です。鎌倉時代に、東寺（京都市）から同寺の荘園である太良庄へ伝わったとされています。



▲昭和33年に盗難された際は鳥取県で発見され、無事に戻ってきました

太良庄にあった賀羅岳城の主、山県民部丞政秀が個人的に礼拝していたので、城が攻め落とされて川に沈んでいたところを村人が救い出し、正林庵に祭るようになったとされています。

この観音さまは、過去4度にわたって盗難の被害に遭っていますが、不思議と行方知れずになることなく、無事に正林庵に戻ってきています。

地元である太良庄の人々からは、最初の盗難の際に仏像を取り戻した甚兵衛さんにちなんで「甚兵衛観音」と呼ばれており、今なお、あつい信仰を受けて親しまれています。

人々の熱心な信仰が観音さまに伝わって、正林庵に帰ってきてくれるのかもしれないね。

----- 有料広告 -----

年末年始も休まず営業します
いつもよりお得におそばをお召し上がりいただけます。

12/30・31 年越しそば販売
新成人の方のみ入浴料が20円！！
1/10 限定 成人割

お食事処だけの利用もできます！

小浜市川崎3-4 御食園若狭おばま食文化館内
TEL:0770-53-4126 **濱の湯**

謹賀新年

地域の皆様には大変お世話になりました。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

小浜自動車学校
☎0120-52-0839

安心と信頼 地元の石屋さん
お墓ディレクター(1級)在籍
(日本石材産業協会登録第12-100024号)

(有)杉田石材店

お気軽にご来店下さい。
お電話での相談も承ります。
小浜市小浜広峰 55
☎(0770)52-0748・FAX(0770)52-0853

ゴミ分別・収集日通知無料アプリ

ごみサポ!
完全無料
分別検索 アラーム通知

スマホ全対応

自治体・学校教育機関向けアプリ・データ
福井システムズ株式会社
若狭営業所
小浜市小浜清滝102 TEL: 52-6360
URL: http://www.fukui-systems.co.jp/

JAカーフェスタ 2022

1月15日・16日
22日・23日
新車多数 勢揃い!!
中古車も展示予定

春から新生活を始める方
お急ぎください!
【お問い合わせ】 JA福井県 若狭基幹支店
経済部 経済課 ☎56-5024

安全と快適を生む環境づくり。
ビル総合管理・警備保障システム



株式会社アイビックス

若狭支店 / 917-0241 小浜市遠敷7丁目112
TEL:0770-56-0266 FAX:0770-56-0268

編集後記

●師走の慌ただしさに追われるうちに、新年はもうすぐそこに▼一説によれば、1月の和名「睦月」は、お正月に家族や親戚が睦まじく(仲良く)集まる月であることに由来するとか▼昨年はコロナ禍で帰省を諦めたけれど、今年こそは家族そろってお正月を、とお考えの方も多いのではないのでしょうか▼仲良きことは良きことかな。会食などでの感染対策に十分注意して、笑顔で新年を迎えましょう(池)

●自分で課題設定をして、その解決方法を探る探究学習▼小浜第二中学校でコウノトリを題材に小浜の活性化を考える3年生のグループが、学習の一環として、コウノトリのLINE*スタンプを作成しました(※スマートフォンなどを使用して交流できるサービス)▼すでに販売が始まり、売り上げはコウノトリの愛護団体に寄付されます▼身近にあるものに着目し、形にした中学生の力に驚きました(理)